



(株) アリモト工業  
代表取締役 有元 政信さん (55歳・申良町)

(株) アリモト工業は、野外界観施設やログハウス等の製造・施工をはじめ、シロアリ防除施工などを行なっている創業56年目の会社で、従業員数は20人です。

現在、新たな事業展開として、徹底した衛生管理のもと、<sup>ぎこくたしあり</sup>擬黒多刺蟻から<sup>とうちゅうかさう</sup>発芽させた冬虫夏草を、錠剤・顆粒・ドリンクに加工し、商品化に取り組んでいます。

また、今後も新たな新商品の開発を視野に入れており、これからも高齢化社会に対応した健康づくりや、健康を維持・増進するため、安心・安全な食品を鹿屋から全国へ発信していきます。

(有) クリエイトファームは、養豚業を基軸に自社黒豚の加工・販売を行っている会社で、従業員数は9人です。これまで行ってきた鹿児島黒豚の生産のみの経営体制から脱却し、自社の経営理念である「究極の安心・安全・健康の確立」に向けて、自社黒豚専門の食肉加工と卸・小売販売を開始し、特にITを駆使したプロモーション事業には力を注いでいます。これらの取り組みにより、生産から加工・流通まで全て自社内による一貫体制を確立しました。

今後は直売店の拡充と外食産業及び介護事業への参入を視野に入れ、更なる精力的な事業活動に取り組んでいきます。

(有) クリエイトファーム  
代表取締役 梶川 勝志さん  
(42歳・大浦町)



# がんばっています！

～鹿屋市で育ちがんばる企業～

## 鹿屋市から育つ起業家

市産業支援センターでは、  
がんばる企業を支援しています

【問い合わせ】市産業支援センター ☎ 0994-40-7890

鹿屋市の産業を取り巻く環境は、原油価格高騰の影響等により、たいへん厳しい状況にあります。このような中でも、新たな商品開発や経営革新、事業拡大に努めている企業もあります。

今回は、先日行なわれた異業種交流会において、取り組み事例やビジネスプランを発表していただいた市内4つの企業の皆さんに話をうかがいました。



7月23日、市内のホテルで、第一次産業を生かした産業振興を図ろうと、市と鹿屋商工会議所地域力連携拠点との共催で、農商工連携推進「講演会」と「異業種交流会」を開催しました。会には、市内企業などから約100人が参加し、異業種間の連携と交流を深めました。

第一部の農商工連携推進「講演会」では、熊本県南阿蘇村の、(有)木之内農園取締役会長の木之内均氏が、「農商工連携による内発型産業の構築に向けて」と題した講演を行ない、第二部の異業種交流会では、市内の4企業が、現在取り組んでいる事業内容や新製品等の販路開拓を目的としたビジネスプランの発表を行いました。

また、交流会では参加者同士の意見交換を行い、今後の異業種間の連携等について、活発な意見が交わされました。

## commento



コメント

中村 奏  
鹿屋市産業支援センター  
ビジネスマネージャー

市産業支援センターでは、  
がんばる企業を応援します。

産業を取り巻く環境がたいへん厳しい中で、本市の企業において、色々と元気な事業を展開され頼もしく思っております。

これからも、経営者の支援に努め全国的な鹿屋発の企業が誕生するよう頑張っております。

市産業支援センターでは、今後も専門的な経営指導などの相談、また、市内のがんばる企業や事業所を支援するための講演会やセミナー、異業種交流会等を開催していきますので、皆様のご利用をお待ちしています。

飯田機械(株) 鹿屋工場  
工場長 安田 知紀さん  
(34歳・申良町)



飯田機械(株) 鹿屋工場は、医療機械部品(外科用縫合針)や缶製品(茶缶、菓子缶等)の製造を行なっている会社で従業員数は8人です。

現在、縫合針については、機械化により大量受注に対応できる体制を整えています。また、缶製品については、これまで3枚のパーツ(ブリキ)により1つの缶製品を作っていましたが、新たな機械を開発・導入することで、2枚のパーツによる密閉性の高い缶製品を製造する予定です。

今までにない独自の技術により、深絞りの缶の製造を可能にして、鹿屋から全国展開していきます。

(株) V.I.T.JAPAN  
代表取締役 上窪 道代さん (37歳・田崎町)



(株) ブイアイティ・ジャパンは、FRP(SMC)製品販売、リフォーム、プレス金型設計製造、SMC型設計を行なっている会社で、従業員数は11人です。

現在、軽くて丈夫で、一般の瓦にも見劣りしないFRPを使用した「アイルーフ」をはじめ、「アイベース(住宅用基礎残存型枠)」や、「アイベースフラワー(境界ブロック)」等を開発・販売しています。

今後も、環境問題上のFRPの優位性と外観や耐久性も良い製品を市場へ浸透させるために頑張っていきます。